

春の叙勲

平成十七年春の叙勲が発表されました。葉山では次の皆さんが受章されました。おめでとうございます。

瑞宝双光章 富澤 昭治さん



元神奈川県警察勤務。地域・交通・警務分野において、治安維持に尽力。危険業務従事者として受章されました。

瑞宝単光章 菊地 傳さん



元逗子消防署勤務。防災を通じて災害のない街づくりを推進。危険業務従事者として受章されました。

防災行政無線の運用が変更されます

六月一日から防災行政無線の運用が変更され、防災行政無線は左記の場合に放送されます。

緊急放送：「男性の声」で放送します

●警戒宣言が発令された時

●町震度計が震度四以上を計測した時

●地震により「津波注意報」・「津波警報」・「大津波警報」が発令された時

●右記発令事項が解除された時

●地震により「津波なし」が発令された時

●東海地震「観測」・「注意」・「予知」情報発令に伴う放送（※）

●東海地震「注意」・「予知」情報又は東海地震「警戒宣言」発令時の町長による呼びかけ情報（※）

●避難勧告・避難指示の呼びかけ放送（※）

●災害発生時・発生後の周知事項（※）

●気象警報が発令されたとき（※）

●右記発令事項が解除されたとき（※）

一般放送：「女性の声」で放送します

●町が行う行事で、緊急に周知する必要がある放送

●非常通信訓練に関する放送（防災訓練等）

●大規模なライフライン（電気・水道・

ガス・通信・輸送等）施設の事故等に関する放送（※）

●行方不明者・所在不明者に関する放送（※）

●犯罪行為に対する注意情報に関する放送ほか（※）

（※）は、六月一日から追加される放送事項です

●**注意事項**

◆緊急放送は、昼夜の区別なく放送します（解除含む）。

◆緊急放送は、町内全域を対象に放送します。

◆地震を感じたら海辺にいる人・海岸線にお住まいの方は、高台に避難してください。

◆その他テレビ・ラジオの放送に注意してください。

◎六月一日から次の方法でも、防災行政無線と同じ内容が確認できます

▲消防テレホンサービス（☎八七五―四〇〇〇）に電話する。

▲湘南ビーチFM（78・9MHz）を聴取する（一部受信が困難な地域があります）。

▲葉山町ホームページで確認する。

問合せ 消防本部

☎八七六―〇一一九 内線三一五

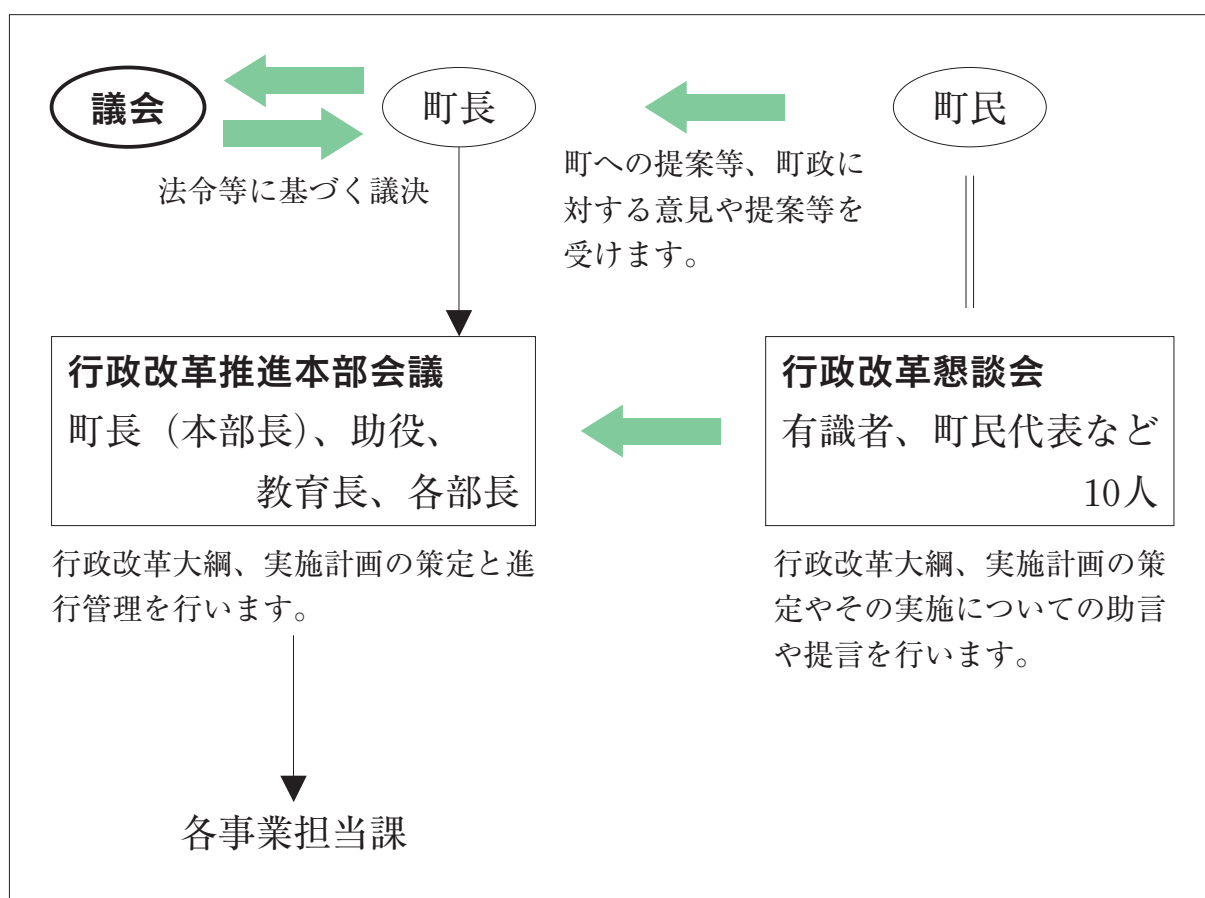
行政改革の取り組み状況

取組経過

平成十二年四月に地方分権一括法が施行され、本格的な地方分権の時代がスタートし五年が経過しました。今までの全国横並びの行政運営から、地域特性を前面に出した特色あるまちづくりを行っていくことが求められるようになりました。このような変革の中、住民のニーズに即した行政サービスと効率的行財政運営を図るため、平成八年五月三〇日に行政改革大綱を策定し、行政改革に取組む指針を定めるとともに実施計画を定めてその推進に努めています。平成十七年度は、その第二次実施計画の最終年度にあたります。今年三月には総務省が、「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」を示し、今後の行政改革の取組みに関する集中改革プランの策定など各自自治体に対し更なる改革の推進を求めています。これを受け、町では多様化するニーズと社会情勢の変化に対応していくため、今後もより一層の行政改革の推進を図っていきます。

行政改革推進体制

町では、次のような体制で行政改革の推進に努めています。



平成十五年度中の主な取組内容

①事務事業の見直し

ア 人件費を始めとする義務的経費の削減、国及び県補助金の確保等財政運営の健全化を図りました。

イ 民間事業者への委託、業務のシステム化等事務運営の改善を図りました。

ウ 審議会や私的諮問機関の答申等を政策決定の際に活用し、住民参加の拡充を図りました。

エ 公文書の公開、例規のホームページ上での公開等公正で透明な行政の推進を図りました。



②時代に即応した組織・機構の見直し
行政組織並びに定員配置等検討委員会の報告をもとに、組織の見直しについて検討を行いました。

③定員管理及び給与の適正化の推進
定員削減計画に基づく職員削減を行いました。

イ 人事院勧告に基づき、国家公務員及び民間企業に準じた適正な給与の支給に努めました。

④効果的な行政運営と職員の能力開発
公務員制度改革の動向を踏まえ、勤務評定を試行で実施しました。

イ 行政評価システムを改善し、評点化による事務事業の点検及び分析を行いました。

ウ 庁内研修の実施及び外部研修機関の研修への派遣により職員の資質向上を図りました。

⑤行政の情報化・文化化及び国際化の推進

ア 住民基本台帳ネットワークシステムの第二次稼動を行い、転入転出手続きの簡素化や住民票の広域交付が可能となりました。

イ 地理情報システムを利用した公共施設案内をホームページで利用できるよう整備しました。

ウ 図書館のインターネット蔵書検索、予約システムを導入しました。

⑥会館等公共施設の設置及び管理運営
ア 一色小学校校舎耐震補強工事を実施しました。

イ 葉山小学校グラウンド整備工事を実施しました。

ウ しおさい公園、博物館に隣接する県立近代美術館開設に伴い、相互入場ができるよう連絡門設置等の整備を行うとともに、連携割引制度を導入しました。

数値目標の達成状況

①経常収支比率

目標値

八五%以下

平成十五年年度決算値

八八・一%

経常収支比率とは、健全な財政運営の目安となる数値で、財政の硬直度を測る指標です。近年は、景気低迷の影響や行政需要の増加等から多くの地方公共団体が数値が高くなる状況が続いています。

職員削減による人件費、物件費、扶助費、公債費の抑制に努めています。が、社会経済情勢の変化に伴う行政需要の増加による経費も増加傾向にあることから、目標値以下に抑制することが難しくなっています。

②附属機関の女性委員比率

目標値

二五%以上

平成十六年四月一日現在

二一・三%

幅広い分野、年齢層からの登用及び男女共同参画社会を考慮し、町民の意見を反映できるよう努めています。

③総職員数

目標値 平成十年度を基準に十年以内に

に十%削減

平成十年四月一日現在

職員数

三六八

平成十五年四月一日現在

職員数

二九二八

削減率 七・六%

健全な財政運営を行うため、行政のスリム化を計画的に推進しています。

取組による効果額

行政改革の取組による効果的かつ合理的な行政運営を推進した結果、次のような経費の節減を図ることができました。

職員給与費（職員数削減による給料、諸手当削減） 一一四、二九一千元
国民年金事業（国と地方の役割分担の見直しによる削減）

一〇、四九八千元
くれ竹の郷葉山推進事業（コンサルタント委託の削減） 七、九〇〇千元
一般公園管理事業（自治会、地域の管理協力による削減） 六、三四〇千元
在宅高齢者福祉サービス事業（サービスの整理統合による削減） 二、七六〇千元



「広報はやま」の 配布方法が変わります

七月号から各戸配布に！

「広報はやま」は、現在新聞折り込みで、皆さんのお宅にお届けしていますが、七月号から各戸配布（ポスティング）を行います。

各戸配布は、町民の皆さんのお宅の郵便受けなどに直接「広報はやま」をお届けする方法です。これにより、現在新聞を購読されていない世帯の皆さんにも「広報はやま」をお届けできるようになります。

配布日は、概ね発行号月の前月末から発行号月初めに配布する予定です。また、七月号に掲載を希望する「葉山歌壇俳壇」及び「でんごんばん」の締切日も変更します。

掲載コーナー	七月号から
葉山歌壇俳壇	掲載希望月の前々月末日必着
でんごんばん	掲載希望月の前々月末日正午必着

問合せ 企画課 ☎内線三三三